

## 内容

### \* ヴィレッジセミナー2013年 研修報告(6)

#### 6. 成果と結果

### \* ヴィレッジセミナー2013年 研修報告(6)

#### 6. 成果と結果

(Joe) 今日皆さんにご紹介するのは2つのセッションを担当してくれる方ですが、彼はヴィレッジの最初の提案書を書かれた方です。そしてヴィレッジのアイデアや概念を纏め上げてくれた人です。今まで聞いていただいたようにアウトカムのアプローチをととも強調されている方です。そしてヴィレッジの最高責任者でもあります。

それでは紹介します Dr.デービッド・ピロンです。

(デービッド) 今回は2つのトピックについてお話ししたいと思います。

それでは最初にパフォーマンスとその計測についてお話ししたいと思います。

皆さんこの言葉を知っていますか? 「私たちは神を信じます」ドル札を見ると紙幣に「IN GOD WE TRUST(私たちは神を信じます)」と書いてあります。この国は宗教に関係なく世俗的な基盤に基づいて建国されましたが、それであっても紙幣には宗教的な言葉が書かれています。神は居るし神はオールマイティであると信じているのです。だから私たちは、そのオールマイティに対して信じるのです。でも現実には私たちのすることに対して全て批判的でなくてははいけません。

メンタルヘルスの分野では、私たちの努力が利用者に対して本当に価値が有るのか否かについて確認していく必要があります。そしてその努力をしていかななくてははいけないのです。そこでお話ししたいのが、どの様に計測していくかということです。

ヴィレッジの活動は、精神保健の分野としては非常にユニークなものです。その1つとしてヴィレッジは試験的に設置された施設ということです。ヴィレッジが設立された時、誰もがここに来られる施設ではありませんでした。ヴィレッジが始まった時、240人の対象者が設定されました。そしてその中から無作為に抽出した120人がヴィレッジの対象者グループと決められ、



#### INDEPENDENT EVALUATOR'S FINDINGS: MAJOR HIGHLIGHTS

##### 独立評価人による調査結果：重要なポイント

- ヴィレッジ・メンバーの入院日数は、比較メンバーと比べ著しく短かった。また、ヴィレッジ・メンバーの入院治療費も著しく低かった。
- ヴィレッジでは、72.6%のメンバーが3年間にわたり有給雇用を試みたことに対し、比較グループでは14.6%だった。
- グループホーム、および施設で生活するヴィレッジ・メンバーの割合は、基準値15.8%から3年後には10.8%に減少した。比較メンバーにおいては、基準値23.7%から3年後には23.2%と、その割合はほぼ一定を保持していた。
- ヴィレッジ・メンバーは、比較メンバーと比べ、より多く孤立性の余暇活動、およびより多く他人と一緒に活動をインタビュー前に行っていたと報告した。ヴィレッジ・メンバーは、年次3回の各インタビューにおいて、著しく高い支援を得ていると報告した。
- ヴィレッジ・メンバーの家族は比較グループの家族に比べ、著しく軽い負担、および負担から発生するストレスの軽減があったと報告した。また、ヴィレッジ・メンバーの家族は比較グループの家族に比べ、メンバーの将来への希望についてより前向きな気持ちを持っていた。
- ヴィレッジ・メンバーのメンタルヘルス・サービスに対する満足度は、比較グループより著しく高かった。

出典：Chandler, D., Meisel, J., Hu, T., McGowan, M., & Madison, K. Client Outcomes in a Three-Year Controlled Study of an Integrated Service Agency Model. *Psychiatric Services*, December, 1996, 47, No. 12, pp. 1337-1343.

他の 120 人は比較グループに定められました。そして 3 年間の活動後、対象者グループと比較グループを独立機関が調査しヴィレッジの成果について評価しました。そしてヴィレッジの 3 年間の活動成果が公表されました。

コスト面からみるとヴィレッジの活動では在院日数が大幅に少なかったため入院費が大幅に削減されていました。独立機関の報告では 35 万ドルの削減があったとされています。

しかし私が最も興味深かったのは、ヴィレッジでは 73%の人が 3 年間の間に何らかの就業経験をしたということです。比較グループでは 15%しかありませんでした。と言うことは、ヴィレッジのグループは比較グループの人たちの 5 倍就業経験をしたということです。

ヴィレッジグループの人たちは、比較グループの人たちよりも満足度の高い生活が出来ていたという報告もあります。

それではどの様にしたことで、この結果が出たのでしょうか。

ヴィレッジのコントロールグループと比較グループでは、どの様な事が違っていたのでしょうか。

先ず言えることは、ヴィレッジでは全サービス量に対してケースマネジメントの比率が 40%と、比較グループの 10%に対して大幅に多い事です。即ち我々のサービスは比較グループに比べてケースマネジメントに 4 倍注がれたということです。これ以外に比較グループとの差が何処にあるか、表をご覧ください。皆さん如何ですか？

(参加者) 社会化に力が注がれているのが見えます。

(デービッド) そうですね。社会化に 10 倍の力が注がれています。それ以外に我々は 20 倍以上の努力が、就業に注がれている事が分かると思います。

日本でこの様な表現が使われているかは分かりませんが、私たちの間では「支払った分だけが、自分に戻ってくる」という表現があります。これが良い例だと思えます。ですから我々はお金やリソースをケースマネジメントや雇用創出・社会化に重点的に注ぎ込んだわけです。その事が、いま我々が見ている改善された結果なのです。

ですから皆さん日本に帰ったら、自分たちの資源をどの様な事に活用しているのかを考えてみて欲しいと思います。お金やリソースを、外来治療や急性期対応・長期ケアなどに注いでいませんか？是非考えてみてください。

この事からヴィレッジはメンバーの治療やケアと言ったことではなく、全体的な生活の質の向上に焦点を当てている事が分かります。その他にも次のスライドにあるように、色々なアウトカムに焦点を当てサービスを見ている事ができます。

しかし最も大切なことは、メンバーの臨床的な状態に焦点を当てることです。

これは皆さんに最初にお伺いすれば良かったのですが、皆さんの施設ではどの様なアウトカムについて評価をしたりデータを取って蓄積したりしていますか？症状の推移などをフォローアップして数値化したり、何らかの形でデータの蓄積をしたり表にしたりしていますか？

皆さんのところのお話はお聞きできませんが、それでは皆さんのところでは利用者さんの症状が改善しているということを、どの様にして判断していますか？

本当に知りたいので、皆さん教えてください。

(参加者) 私たちは毎週ケア会議を行い、メンバーの変化を皆で話し合い、今後の支援方針を決めていきます。

(デービッド) それではその会議を通してメンバーの何%位が良くなっていると思いますか？

サービスの種類	ビレッジ	比較グループ
	全体比率(%)	全体比率(%)
ケースマネジメント	40.6	10.1
デイケア	0.2	1.0
投薬	11.2	10.2
住居	0.3	2.1
社会化	11.6	1.2
外来治療	4.7	23.2
職業	25.1	1.3
急性期病院	5.1	27.9
長期ケア	1.3	23.1

• ビレッジ・メンバーの 3 大支出分野は、ケースマネジメント、雇用サービス、および社会化サービスだった。対照群の 3 大支出分野は、急性期入院、外来治療、および長期ケアだった。

出典：Lewin-VHI, Inc., with Meisel, J., & Chandler, D. The Integrated Service Agency Model: A Summary Report to the California Department of Mental Health, June, 1995.

(参加者)私の施設は設立から6-7年経過していますが、施設を出て一人暮らしをしている人が50%位います。

(デービッド)50%の人が一人暮らしに移行できているのは、とても素晴らしいことです。ということは何らかの活きた行動があるということです。そしてメンバーの半数は一人暮らしが出来ているというデータが出ている訳です。

私がここで強調したいのは、データの重要性です。これは日本ではあまり重要視されていないかもしれませんが。それは日本にはそれなりの資金が有って運営できるのかも知れませんが、アメリカではそうではありません。アメリカでは凄いプレッシャーを掛けられています。私たちは毎年毎年、相手側から精神保健に関する資金削減の恐怖があります。日本はアメリカに比べるとより良い安全網が有るのかもしれませんが。しかし今後日本でも経費削減の圧力が、皆さんの元に係ってくるかもしれません。

ずっと以前から私たちがメンバーさんに使っているお金は税金です。そして税金がどの様に使用されているかを報告する必要がありました。今は一般の人に対して、皆さんの税金が効率よく使用されているかを証明しなくてはいけません。私たちは税金を使って、ヴィレッジがサービスを提供しているメンバーの生活の質が向上しているということを説明する責任があるのです。アウトカムにしてもメンバーさんの質の向上ということなのですが、管理的な面からその時々状態ではなく経過に対する成果をリアルタイムで表示する必要があります。

カリフォルニア州では1999年に新しい法律AB34を開始しました。ここに示されている内容がAB34に基づいて我々が説明すべきアウトカムです。そしてこの時点で我々が重要と考えるアウトカムの順番です。最近私はこのアウトカムを見ながら、重要な順番を少し変えた方が良く考えています。1999年に私がこのアウトカムを考えたときには、独立した生活が最も重要なアウトカムと考えていました。そして危険な麻薬中毒から解放されることは最も重要でないアウトカムとっていました。その時に比べると私の考えは変わってきています。

皆さんは、私だったらこれを一番に持ってくるという項目はありますか？

8番が多いですね。メンバーをトラブルから守ることでですね。社会的な面を考えると、とても重要なことです。

次に多いのが6番でした。この順番に正しいか間違っているかの答えはありません。しかし私も現在では6番を最も重要とするでしょう。

一人の人が自分の生活を管理するようになれば、周りの事は全てそれに沿って動いていくようになります。ですから自分でケアができること、自分で連携してやっていけることはとても重要なことです。

それではAB34の成果について皆さんにご紹介したいと思います。

先程反社会的行為や犯罪から守ることが大切だという意見も多かったのですが、AB34過去6年間での収監率のデータを見てみるとプログラム前は197であったものが6年目には29に下がっていて、削減率は85%になっています。

#### 事後評価：QOL面での成果

- 計画的ケアは、QOL面での成果を測定することによって、最もよく評価される。
- QOL測定因子は、9領域の客観的な指標である：住居、雇用、教育、犯罪歴、家計、後見/被支払い人、薬物療法、社会的サポート、および物質乱用。
- 成果は、管理者やスタッフおよびメンバーにとって妥当なものでなくてはならない。
- 成果は、「一括」ではなく、「その時々」になされなければならない。

#### AB 34 Outcomes Language (FINAL) AB34 アウトカム (成果) の言葉 (最終版)

- (c)個人へのサービス対応計画は、ケアシステムに参加することを目標とする集団のメンバーが、年齢、性別、および文化的に適切なサービスを受けることができ、可能な限り、サービスの受け手に対して以下を保証されるものとする。
- (1)地元コミュニティ内で可能な、最も高度な自立型で、かつ最も拘束が低い住居に住むこと。
  - (2)各自の能力、および経験に見合った最も高いレベルの仕事、あるいは生産活動に携わること。
  - (3)友人や家族から構成された支援システムの作成、かつ維持をすること、ならびにコミュニティ活動に参加すること。
  - (4)適切なレベルの学問教育、あるいは職業訓練を受けること。
  - (5)適度な収入を得ること。
  - (6)各自で病気の自己管理を行い、ならびに各自の人生に影響を与える日常的、かつ長期的な決断に対してできる限りのコントロールを発揮すること。
  - (7)必要な身体的健康ケアを利用すること、および最良の身体的健康を維持すること。
  - (8)反社会的行為、または犯罪行為を減少、あるいは除去することにより、刑事司法制度との接触を減少、あるいは除去すること。
  - (9)精神病の症状によって引き起こされる苦痛を緩和、あるいは除去すること。
  - (10)危険な常習性のある物質から自由になること。

次は病院に入院した数です。これもプログラム前は年間 102 人いたわけですが、6 年後には 13 名迄減っています。これも減少率は 87% となっております。

次はホームレスになって人数です。プログラムは 409 名が参加していますが、プログラム前ホームレスは 188 名でした。1 年目には 37 名と激減し、その後 20 名前後を推移したのち 6 年後は 26 名と若干増加しましたが、削減率は 86% と良い結果が得られています。

この様なスライドを私が州議会で証言しました。すると一人の議員が私にスライドの中身を説明して欲しいと言いました。

(議員) プログラム前はホームレスが 188 名いて、今は 26 名なのですね。

(デービッド) ハイその通りです。

(議員) 私たちは貴方たちに住宅やホテルのクーポン、関連する資金を提供していますよね。

(デービッド) 勿論です。ですから 188 人から 26 人に減少する事ができました。

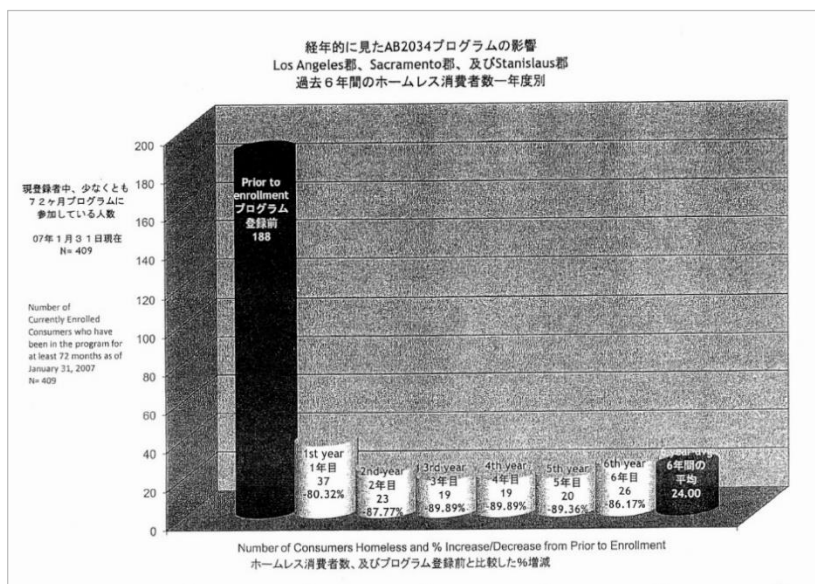
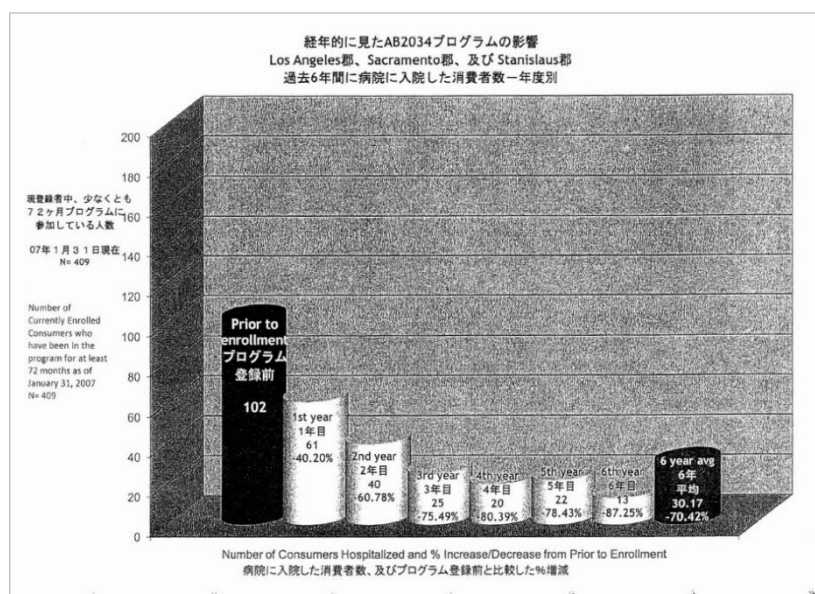
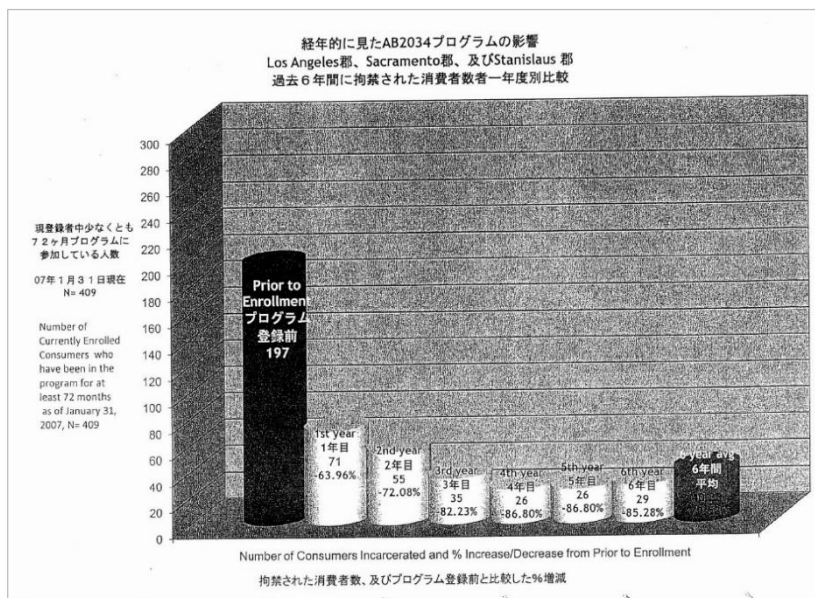
(議員) これだけ提供しているのに、何故未だ 26 名もいるのですか？

(デービッド) 貴方はコップの水が少なくなった時、半分残っているという見方ではなく、半分カラになったという見方なのですね。と言いました。

私は彼に後で手紙を書いて説明しなくてはいけなかったのですが、本当にこれは成功体験なのです。

次は就労に対する結果です。先程就労が最も大切と答えた方がいらっしゃいましたが、1 年目に 98 名

と一番高い結果が出ていますが、その後は下がって 60 名前後を推移しているのが分かります。平均的にはポジティブな結果となっておりますが、最初の年に比べると良い結果とは言えません。



後幾つかのデータも見ていきたい  
 と思います。

先程収監された人数の話をしてしま  
 しましたが、収監された期間について  
 見えています。

プログラム前の収監者は 197 名  
 で 22,170 日の収監期間が有りました  
 が、6 年後には収監人数は 29 名  
 で収監期間は 2,128 日に減少させ  
 る事ができました。

次は入院日数です。プログラム  
 前の入院者は 183 名で日数は  
 2,826 日でしたが、1 年目は 106 名  
 で 1,263 日に減少し、その後上下  
 しながらですが 6 年目には 67 名で  
 714 日という結果となり、削減率は  
 75%になっています。

この様にアウトカムをグラフ化して  
 見やすい状態で説明することがとて  
 も重要です。

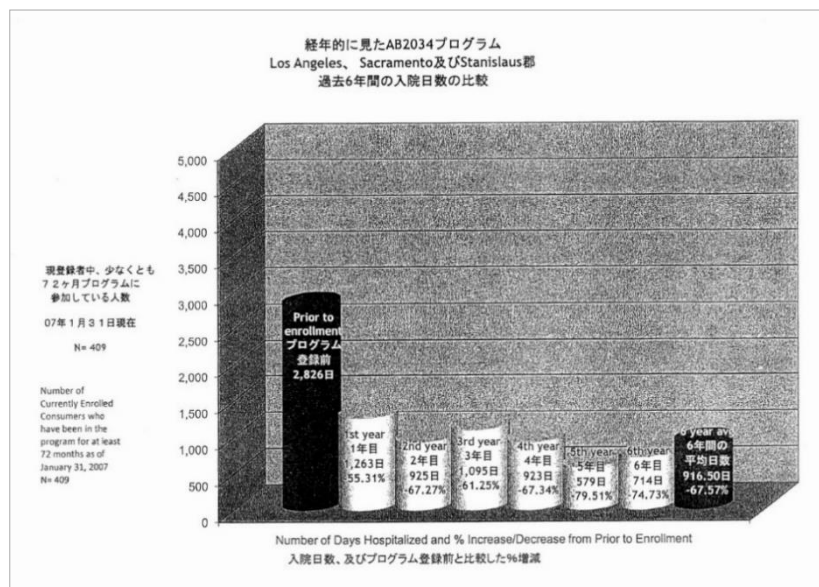
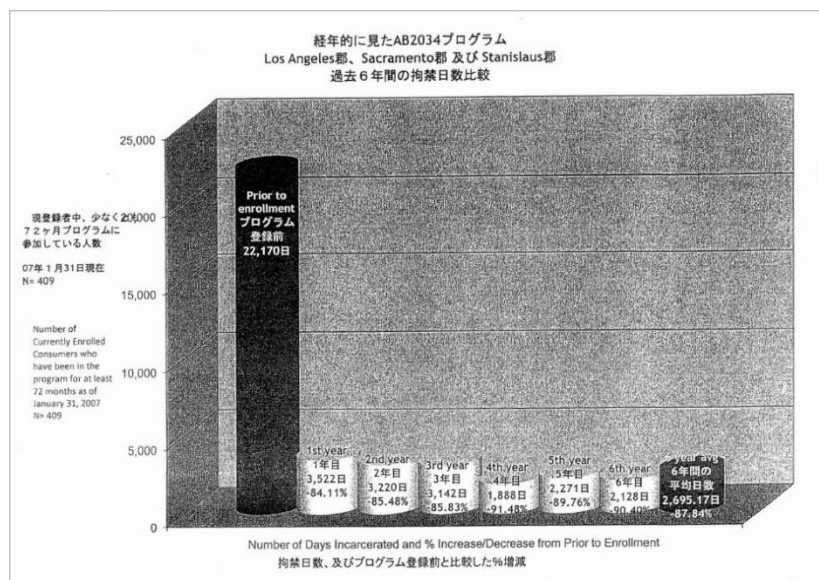
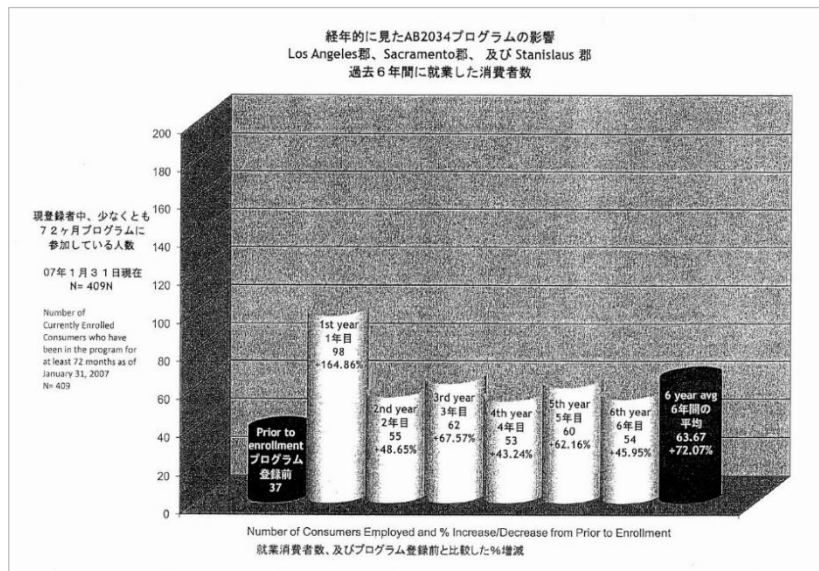
2004 年に私が議会で証言して  
 いたとき、当時カリフォルニア州知  
 事であったシュワルツネッガー氏が  
 我々の補助金をターミネイトするター  
 ミネーターとして(笑)という話を聞  
 いていました。

しかしその後予算化確定したと  
 き、我々の予算は継続していて安  
 心しました。その時の知事のメッセ  
 ージには「我々は精神障がい者へ  
 の統合サービスプログラムには持続  
 して 5,490 万ドル(日本円約 62 億  
 円)の拠出をする」と書かれていま  
 した。そしてその中で彼は「この様  
 なプログラムが地域に莫大な経費削  
 減をもたらしている。そしてこのプ  
 ログラムによって、我々が困難な時期  
 において不可欠な財政軽減をもたら  
 している」と言及しています。

次に紹介したいのは、リカバリー  
 についてです。

リカバリーを特定化するという考えは非常に重要です。

私たちはリカバリーの定義とは何であるかということを考え、作り上げました。





そしてメンバーが積極的に自分の生活管理をしていると言うことを導きだしました。収監されることなく自分の生活状態の中で十分機能を果たすことができていることです。そして自活できて有意義な活動が出来ていることです。また明確に打ち出された自分たちのサポートグループを持っていることです。

それからこちらでは当事者グループの協会が、自分たちのリカバリーとは何であるかということで、4つの構成部分を打ち出しました。

「Health」「Home」「Community」「Purpose(目的)」

### Milestones of Recovery

リカバリー 8のステップ

精神障害は自分の一部であることを知る

日々の諸問題を処理することが人生であることを受け入れる

援助、支援の組織を持つこと

その都度、気持ちを処理する

健康的な態度と習慣を維持する

成長が必要であることを意識する

自分のためだけに生きるのではなく地域社会にも貢献する

自分の技能、能力を認め現実の生活に自信を持つこと

1. Extreme Risk
2. High Risk / Not Engaged
3. High Risk / Engaged
4. Poorly Coping / Not Engaged
5. Poorly Coping / Engaged
6. Coping / Rehabilitating
7. Early Recovery
8. Advanced Recovery

目的は、自分が有意義な役割・目的を持って生活できているということです。

この4つの言葉は我々が思うリカバリーの定義を、凄く良く表現してくれていると思います。私達もこれに則ってリカバリーの道標を作っています。

話は変わりますが、皆さんが仕事をしている時、もっと多くの情報を記録しておかなくては行けないと感じることは有りますか？

多分既に多くの情報を記録していることと思います。ヴィレッジのスタッフも、記録することが多過ぎると感じていました。

それで我々は簡単な記録で十分な情報を

### ホームレスのための統合サービス Integrated Service for the Homeless

州知事のホームレス（成人）の統合サービス プログラムの予算は \$4.9 ミリオン ドラー(約 62 億円=1 ドル=110 円)を計上している。これは精神障害者へのサービスと治療における成功を示したものである。加えて評価はこのプログラムによって地域の莫大な経費削減をもたらしている。またプログラムの継続によって郡の困難な時期における不可欠の財政軽減をもたらすものである。

#### Integrated Services for the Homeless—

The Governor's Budget continues funding of \$54.9 million General Fund for the Integrated Services for Homeless Adults program, which has a proven track record of success in treating and providing services to the mentally ill. Additionally, evaluations have shown that this program leads to significant savings at the local level, and continuing this program provides essential fiscal relief to counties in these difficult times.

Taken from the "Governor's Budget Summary; 2004-2005

健康は、自分のメンタルヘルスと身体の健康を維持できているということです。

家は、自分で居住する安全な家があるということです。

コミュニティは自分に対する社会的支援が十分に受けられていることです。

メンバーの名前：

調査を行った人の名前：

日時：

#### Milestones of Recovery Scale

##### 画期的回復調査

最近2週間以内に調査したメンバーの状態を下記の中から選んで、マルを付けてください。

1. 大変危険 — 自分自身や他人に対して大変危険である。度々病院や留置所に拘束される。基本的なニーズが分からず機能的に不可能であり、地域社会で安全に支援出来る見込みがない。
2. 大変危険/サポート組織を持たない — 多数はホームレスで薬物、アルコールに頼り悲観的であり、自分が精神障害者であることを認識しておらず、大変リスクの多い行動をする。服薬による治療を拒否する傾向があり治療やその提供者に非協力的である。
3. 大変危険/サポート組織を持つ — 精神障害の治療に参加し協力的であるが多くの困難があり自助活動の能力は非常に低い。
4. 見習うことが不十分/サポート組織を持たない — 一般的に他には危険を及ぼさないが薬物障害者であることが多く生活を乱しているが、入院はまれである。しかし精神障害者であることを認識していない。支援組織や治療には参加していない。
5. 見習うことが不十分/サポート組織を持つ — 一般的に他には危険を及ぼさないが薬物、アルコールに走り生活を乱している。精神障害者であることを認識していない。支援組織、治療に参加している。
6. 見習う/回復期 — 薬物やアルコールに頼ることなく、また入院することも殆んどない。服薬療法により毎日ではないが日常の困難を処理出来る。人生の目的を持ちそれに努力をしている。時として支援、助言が必要であるが精神障害者であることに對して不平はない。支援や勉強は必要とする。積極的に役割を作り上げ仕事についての責任を望んでいる。多かれ少なかれ人生、生活に對して満足度を持つ。
7. 早期回復 — 治療に積極的に取り組みスタッフの支援をあまり必要とせず、自分の問題に對処している。薬物やアルコールに頼ることはなく症状を管理している。最小限のサポートにおいて自分のゴールを設定し、健康にも心を配り地域社会の中での役割を築き上げている。
8. 回復の向上 — 完全に自立し薬や保険など政府の恩恵を受けている。精神障害者であることを認識しているが、最早精神障害者ではなく健康者と同じである。

記録できる方法を考案しました。ヴィレッジでは近々電子化を考えているので、その時実施しようと開発している評価方法です。

我々は毎月、この道標を用いてメンバーの進捗状況を測定します。そしてこの様にデータ化することで、メンバーのリカバリーの進捗状況が一目で判るようになります。

THROUGH APRIL 30, 2011 (Print Date 5/10/2011) MONTHLY PSC ACTIVITY DETAIL "Caseload at a Glance" PSC: [redacted]

MEMBER NAME	Milestones of Recovery						Quality of Life											Service Activity						Service Content			Documentation				Goal
	ADMIT DATE	MORS -6	MORS -5	MORS -4	MORS -3	MORS -2	MORS -1	RES STAT DATE	EMP STAT DATE	EDUC STAT DATE	PAYEE STAT DATE	CONS STAT DATE	\$\$\$ STAT DATE	CHRNC HLTH COND?	CHRNC HLTH MGMT?	TOTAL CHRT HRS	LOC OFF %	LOC COM %	LOC PSH %	LOC OTH %	ACTIVITY 1	ACTIVITY 2	ACTIVITY 3	CARE RECVY RATIO	TR DUE?	SR DUE?	MED CAL?	MED CARE?			
<b>C S</b>	7/1/98 12 YRS 10 MOS	5 PC ENG	4 PC NE	5 PC ENG	3 HR ENG	3 HR ENG	1 HR RISK	HCSP 4/23/11 20%	UNEMP 9/30/06 0%	NIS 6/2/99 0%	2 (3) 2/4/11 15%	Y 11/14/09 10%	SSI \$880 1/15/2011	DiAB OBSTY SA/AA	Y N	I want to get off of money management															
<b>M B</b>	6/22/04 6 YRS 11 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC NE	4 PC NE	2 HR NE	2 HR NE	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to be happy															
<b>T</b>	10/11/09 4 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to finish school and get a law degree															
<b>N P</b>	3/15/10 11 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to be a better caregiver															
<b>N C</b>	2/9/10 1 YR 24 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to stop drinking															
<b>R R</b>	6/2/08 2 YRS 7 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to stay clean and sober, someday do volunteer work and eventually have my own house															
<b>J A</b>	7/1/07 1 YR 8 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to spend time with my children															
<b>E L</b>	5/8/08 2 YRS 10 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to get a job in the community and be financially independent															
<b>E R</b>	2/6/07 14 YRS 5 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to be independent															
<b>T R</b>	4/30/09 2 YRS 10 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC ENG	4 PC ENG	2 HR ENG	2 HR ENG	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to finish my book, I want to slow down, lighten up and take life less seriously															

MEMBER NAME	ADMIT DATE	Milestones of Recovery						Quality of Life											Goal
		MORS -6	MORS -5	MORS -4	MORS -3	MORS -2	MORS -1	RES STAT DATE	EMP STAT DATE	EDUC STAT DATE	PAYEE STAT DATE	CONS STAT DATE	\$\$\$ STAT DATE	CHRNC HLTH COND?	CHRNC HLTH MGMT?				
<b>C S</b>	7/1/98 12 YRS 10 MOS	5 PC ENG	4 PC NE	5 PC ENG	3 HR ENG	3 HR ENG	1 HR RISK	HCSP 4/23/11 20%	UNEMP 9/30/06 0%	NIS 6/2/99 0%	2 (3) 2/4/11 15%	Y 11/14/09 10%	SSI \$880 1/15/2011	DiAB OBSTY SA/AA	Y N	I want to get off of money management			
<b>M B</b>	6/22/04 6 YRS 11 MOS	5 PC ENG	5 PC ENG	4 PC NE	4 PC NE	2 HR NE	2 HR NE	UNKNON 2/12/11 0%	UNEMP 6/22/04 0%	NIS 6/22/04 0%	4 (3) 6/22/04 0%	N 6/22/04 0%	SSI/SSDI \$830 12/5/10	HBP	N	I want to be happy			

データをご覧ください。一番上の方が CS さんですが、最初の行を見ると何時ヴィレッジに来て、どの位経過しているかが分かります。1998 年に来てヴィレッジに 12 年 10 か月いる事が分かります。次の 6 項目が彼の毎月の進捗状態を示したものです。上に MORS とありますが、これはマイルストーンのリカバリースコアの事です。6 か月前(-6)に彼のスコアは 5 でしたが、5 か月前は 4 に下がり、4 か月前は 5 に戻りました。3 か月前に 3 に下がり 2 か月前の 3 で、先月は 1 になり現在非常に危険な状態にいます。彼の状態は表の色を見ると赤になっており、表を見ただけで判断できます。

信号の赤は止まれですね。この様に緑と赤を使うことで、安全な状態か危険な状態かを判断できるようにしました。そしてこの表を見ながら我々は会議を行います。

次の行を見ますと Quality of Life (生活の質)と書いてありますが、この項目には、何処に住んでいるか、仕事をしているかなどが分かるようになっていきます。RES STAT DATE (住居状況)ですが、彼は 11 年 4 月 23 日に入院したという事が分かります。彼の表は次に赤いところは CHRNC HLTH CONO

(慢性疾患の有無)で、糖尿病・肥満・薬物／アルコール乱用が有ると書かれています。

すぐ下の MB さんのところに HBP と書かれて黄色になっていますが、この方は高血圧が有ると記載されています。

この表のアイデアは、メンバーを進捗状態が一目で判り、誰に注意しなくてはいけないか、進捗状況が悪いのは誰か等を理解する事ができる様にするためです。

毎月スーパーバイザーはこの表を見ながら対応策について話し合います。

私が希望することは、各自の毎日の記録を見せるというより、この様な表にすることによりメンバーの状況を簡単に説明が出来ることなのです。

皆さんこの表をご覧になって、自分たちの利用者さんをこの様な表で表現する事ができたら、皆さんが利用者さんのリカバリーに役立つ事ができると思いますか？

私は我々のスタッフがこの様な表を活用することによって、より良いケアができることを願っているのです。  
有り難うございました。



ヴィレッジ ISA 外観



デリ 456(食堂)



食堂内にあるクッキー工房



同じく食堂内にあるヴィレッジバンク



#### —編集後記—

残暑御見舞い申し上げます。

例年にも増して今年の夏は厳しい暑さでした。それでも夕方になると、すず虫やおおろぎなどがゆく夏を惜しんでか、秋のはじまりをお祝いしているかのように涼しげな虫の音に気付く時期になりました。

2023 年度も間もなく後半に入ります。全国の皆さまと新しい交流の場を持つことができるように少し感染症を気にしつつ頑張ってお参りたいと思います。(m.shiida)

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会